

令和4年度

和光市水道事業会計決算審査意見書

和光市監査委員

和 監 第 2 7 号

令和 5 年 8 月 1 4 日

和光市長 柴崎 光子 様

和光市監査委員 山 田 史 明

同 内 山 恵 子

令和 4 年度和光市水道事業決算の審査意見について

令和 5 年 6 月 1 5 日付け和総第 5 8 号で和光市長から依頼のあった標記の件について、地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により、令和 4 年度和光市水道事業決算並びに証書類、事業報告書及びその他政令で定める書類について審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

1	審査の概要	1
(1)	審査の期間	1
(2)	審査の場所	1
(3)	審査の手続	1
2	審査の結果	1
(1)	決算諸表	1
(2)	予算の執行状況	1
ア	業務の予定量に対する決算	1
イ	収益的収入及び支出	2
ウ	資本的収入及び支出	2
エ	経営成績	3
(ア)	事業収益及び費用の状況	3
(イ)	費用の性質別比較	5
(ウ)	業務の概要	5
(エ)	労働生産性	5
(オ)	供給単価と給水原価の状況	6
(3)	財政状況	6
ア	資産、負債及び資本	6
(ア)	資産	6
(イ)	負債	6
(ウ)	資本	6

イ	財務分析	6
	(ア) 固定資産構成比率	6
	(イ) 自己資本構成比率	7
	(ウ) 固定資産対長期資本比率	7
	(エ) 流動比率	7
	(オ) 当座比率	7
	(カ) 営業利益対営業収益比率	7
3	むすび	8
別表		
(1)	比較損益計算書	10
(2)	比較貸借対照表	12

注記

- (1) 比率(%)は、表示単位未満を四捨五入した。
- (2) 別表の構成比率は、四捨五入して算出しているため、合計に一致しない場合がある。
- (3) 「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。
- (4) 「-」は、該当数値のないものである。

令和4年度 和光市水道事業会計決算審査意見書

1 審査の概要

(1) 審査の期間

令和5年6月15日から令和5年7月26日まで

(2) 審査の場所

監査室

(3) 審査の手続

決算審査に当たっては、審査に付された決算書類が、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されているかを確認するとともに、水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計諸帳簿、証拠書類との照合等のほか、関係職員に説明の聴取と必要書類の提出を求め、審査を実施した。

また、本事業の経営内容を把握するため、帳簿書類に記載の数値、指標等に関する分析を行い、経済性の発揮及び公共性の確保を主眼として考察した。

2 審査の結果

(1) 決算諸表

審査に付された決算諸表は、いずれも法令に基づいて作成され、その会計処理及び手続は、法令、会計規程及び企業会計原則等に準拠して執行されており、決算計数は、会計諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、適正に算定されていた。よって、決算諸表は、事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認められた。

(2) 予算の執行状況

ア 業務の予定量に対する決算

水道事業の活動基本目標である業務の予定量に対する決算の状況は、次のとおりである。

区 分		予定量	決 算	比較増減
1	給水戸数 (戸)	43,036	42,760	△ 276
2	年間総給水量 (m ³)	9,390,000	9,090,620	△ 299,380
3	1日平均給水量 (m ³)	25,726	24,906	△ 820
4	年間総有収水量 (m ³)	9,090,000	9,030,737	△ 59,263
5	1日平均有収水量 (m ³)	24,904	24,742	△ 162

	主要な建設改良費 (円)	予算現額			決算額	予算残額
		予定量	遞次繰越額	計		
6	10号取水井戸更新事業 (3か年継続事業)	11,330,000	68,615,800	79,945,800	50,575,800	29,370,000
	南浄水場高圧受電盤更新事業 (2か年継続事業)	76,340,000	0	76,340,000	1,386,000	74,954,000
	酒井浄水場ポンプ盤更新事業 (3か年継続事業)	47,377,000	0	47,377,000	484,000	46,893,000
	寺前橋配水管新設工事に 伴う設計業務委託	11,000,000	0	11,000,000	0	11,000,000

イ 収益的収入及び支出

収益的収支の予算に対する決算の状況は、次のとおりである。 (単位：円)

区 分		予算現額	決算額	予算額との増減
収入	事業収益	1,498,360,000	1,487,888,756	△ 10,471,244
	営業収益	1,182,319,000	1,175,977,386	△ 6,341,614
	営業外収益	315,941,000	317,103,268	1,162,268
	特別収益	100,000	43,724	△ 56,276
区 分		予算現額	決算額	予算残額
支出	事業費	1,424,553,000	1,379,520,673	45,032,327
	営業費用	1,394,109,000	1,354,610,186	39,498,814
	営業外費用	24,844,000	24,842,472	1,528
	特別損失	600,000	68,015	531,985
	予備費	5,000,000	0	5,000,000

ウ 資本的収入及び支出

資本的収支の予算に対する決算の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分		予算現額	決算額	予算額との増減
収入	資本的収入	6,976,000	8,112,965	1,136,965
	負担金	6,976,000	8,112,965	1,136,965
区 分		予算現額	決算額	予算残額
支出	資本的支出	511,152,800	316,097,343	195,055,457
	建設改良費	473,058,800	283,004,061	190,054,739
		うち、継続費通次繰越額 68,615,800		
	企業債償還金	33,094,000	33,093,282	718
予備費	5,000,000	0	5,000,000	

収入の内訳は、

市道364号線配水管布設替え工事他工事費及び監督立会費 8,112,965 円

支出の主なものは、

建設改良費の給配水管布設費 201,245,550 円

である。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額307,984,378円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額23,432,850円、過年度分損益勘定留保資金251,458,246円並びに減債積立金33,093,282円で補填している。

給配水管整備事業については、市道1号線配水管布設替え工事の他4か所の布設替え工事を実施した。配水管の新設については、水道事業で実施はしていないものの、開発等に伴う寄附採納分がある。なお、令和4年度に整備した管路の延長は、配水管新設で85.0m、主要配水管・重要給水施設配水管耐震化工事で425.9m、老朽化更新工事で425.8m、合計936.7mとなっている。

令和4年度重点課題として実施した10号取水井戸更新事業は、令和2年度から令和4年度までの3ヵ年継続事業であり、令和4年6月に工事が完了し、現在は通常運用をしている。また、南浄水場高圧受電盤更新事業については、令和4年度から令和5年度までの2ヵ年継続事業であり、令和4年度に工事発注をし、機器製作を行い、令和5年度中に事業完了する予定である。

エ 経営成績

(ア) 事業収益及び費用の状況

事業収益の状況は、次のとおりである。

(収益) (単位：円、%)

項目	令和4年度			令和3年度	令和2年度
	金額	前年度比較増減	前年度比	金額	金額
営業収益	1,069,474,770	△ 137,096,951	88.6	1,206,571,721	1,170,119,365
給水収益	879,850,330	△ 139,884,745	86.3	1,019,735,075	1,016,270,903
受託工事収益	1,350,140	△ 365,860	78.7	1,716,000	2,510,750
その他の営業収益	188,274,300	3,153,654	101.7	185,120,646	151,337,712
営業外収益	317,053,296	146,882,355	186.3	170,170,941	163,721,740
受取利息及び配当金	158,790	△ 20,997	88.3	179,787	244,219
他会計補助金	158,403,829	158,403,829	皆増	-	-
雑収益	1,581,331	153,082	110.7	1,428,249	1,521,111
長期前受金戻入	156,909,346	△ 11,653,559	93.1	168,562,905	161,956,410
特別利益	43,044	22,373	208.2	20,671	12,634
過年度損益修正益	43,044	22,373	208.2	20,671	12,634
事業収益	1,386,571,110	9,807,777	100.7	1,376,763,333	1,333,853,739

水道料金の収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

現年度分	調定済額	収納済額	未収額	収納率
令和4年度	967,829,253	950,385,074	17,444,179	98.2
令和3年度	1,121,707,367	1,103,955,459	17,751,908	98.4
令和2年度	1,117,895,452	1,100,928,585	16,966,867	98.5

(単位：円、%)

過年度分	調定済額	収納済額	未収額	収納率	不納欠損額
令和4年度	21,741,593	16,947,391	4,794,202	77.9	1,030,940
令和3年度	20,844,317	15,769,024	5,075,293	75.7	1,104,021
令和2年度	24,512,861	19,031,953	5,480,908	77.6	1,049,652

収納済額は、967,332,465円（現年度分950,385,074円、過年度分16,947,391円）で、前年度と比較して、現年度分153,570,385円の減少、過年度分1,178,367円の増加となっている。

現年度分の収納額の減少は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援するため、令和4年8月から同年11月までの水道料金のうち、基本料金を免除したことによるものであり、収納率に大きな変動はない。

未収額は、22,238,381円（現年度分17,444,179円、過年度分4,794,202円）で前年度と比較して、現年度分が307,729円の減少、過年度分が281,091円の減少となっている。

収納率は、現年度分は0.2ポイントの減少、過年度分は2.2ポイントの増加となっている。

不納欠損額は、1,030,940円で前年度と比較して73,081円の減少となっている。

水道料金の徴収対策としては、未納者に対する初期活動を重視した粘り強い督促に加え、繰り返しの督促に応じない滞納者に対しては、適切な時期に給水を停止している。特に、月に1回実施する定時の給水停止の当日及び翌日には、夜間の営業時間を3時間延長し、未納料金回収に努めている。

また、利用者の支払窓口の拡大として、市役所の閉庁日や金融機関の営業していない土曜日に、委託先の窓口を午前9時から12時まで開設している。

令和4年度の実績は、夜間4件、土曜日666件であった。

コンビニ収納の利用実績は、47,844件123,500,984円であり、収納総件数の22.1%を占め、前年度と比較して、3.8ポイントの減少となった。

なお、令和3年11月からスマートフォン決済を開始した。利用できるスマートフォン決済は6社で、令和4年度の利用実績は7,674件18,173,009円で収納総件数の3.5%と全体に占める割合はまだ低いが、前年度と比較して、3.0ポイントの増加となり着実に伸びている。

事業費の状況は、次のとおりである。

(費用) (単位：円、%)

項目	令和4年度			令和3年度	令和2年度
	金額	前年度比較増減	前年度比	金額	金額
営業費用	1,279,903,471	42,797,372	103.5	1,237,106,099	1,210,795,569
原水及び浄水費	607,593,600	11,908,743	102.0	595,684,857	582,998,810
配水及び給水費	109,649,709	16,276,004	117.4	93,373,705	95,017,929
受託工事費	1,165,000	805,000	323.6	360,000	2,170,000
業務費	110,888,326	2,732,702	102.5	108,155,624	108,019,603
総係費	42,184,117	△ 1,092,393	97.5	43,276,510	41,507,431
減価償却費	406,233,957	20,217,103	105.2	386,016,854	378,902,568
資産減耗費	2,188,762	△ 8,049,787	21.4	10,238,549	2,179,228
営業外費用	17,910,901	13,608,421	416.3	4,302,480	5,777,057
支払利息企業債諸費	2,372,084	△ 1,572,457	60.1	3,944,541	5,543,500
雑支出	15,538,817	15,180,878	4,341.2	357,939	233,557
特別損失	62,134	△ 412,762	13.1	474,896	180,132
過年度損益修正損	62,134	△ 412,762	13.1	474,896	180,132
事業費	1,297,876,506	55,993,031	104.5	1,241,883,475	1,216,752,758

(収益－費用)

純利益	88,694,604	△ 46,185,254	65.8	134,879,858	117,100,981
-----	------------	--------------	------	-------------	-------------

(イ) 費用の性質別比較

性質別費用の3箇年度の状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

項目	令和4年度			令和3年度	令和2年度
	決算額	前年度比較増減	前年度比	決算額	決算額
人件費	101,805,451	△ 462,799	99.5	102,268,250	100,596,900
企業債利息	2,372,084	△ 1,572,457	60.1	3,944,541	5,543,500
減価償却費	406,233,957	20,217,103	105.2	386,016,854	378,902,568
動力費	64,528,720	17,549,062	137.4	46,979,658	44,236,489
修繕費	40,313,800	3,641,245	109.9	36,672,555	28,098,565
薬品費	816,960	108,252	115.3	708,708	777,384
受水費	405,586,386	△ 11,257,735	97.3	416,844,121	407,404,631
資産減耗費	2,188,762	△ 8,049,787	21.4	10,238,549	2,179,228
委託料	230,574,335	20,711,915	109.9	209,862,420	218,828,722
その他	43,456,051	15,108,232	153.3	28,347,819	30,184,771
計	1,297,876,506	55,993,031	104.5	1,241,883,475	1,216,752,758

※ 職員人件費は、給料、手当等、賞与引当金繰入額、法定福利費及び厚生福利費の合計である。
(令和4年度決算から法定福利費及び厚生福利費を人件費に含めたため、令和2、3年度分については過去の決算審査意見書とは数値が異なっている)

(ウ) 業務の概要

業務実績の3箇年度の状況は、次のとおりである。

項目	年度		令和4年度		令和3年度	令和2年度	備考
	令和4年度	前年度比較増減	令和3年度	令和2年度			
行政区域内人口 (人)	83,599	400	83,199	83,781			
年度末給水人口 (人)	83,597	400	83,197	83,779			
年度末給水戸数 (戸)	42,760	609	42,151	42,264			
普及率 (%)	100.0	0.0	100.0	100.0			給水人口 総人口
配水能力 (m ³ /日)	35,000	0	35,000	35,000			
年間給水量 (m ³)	9,090,620	△ 149,830	9,240,450	9,325,540			
内 訳	県水 (m ³)	6,565,011	△ 182,223	6,747,234	6,594,442		
	井戸水 (m ³)	2,525,609	32,393	2,493,216	2,731,098		
	県水割合 (%)	72.2	△ 0.8	73.0	70.7		
	井戸水割合 (%)	27.8	0.8	27.0	29.3		
県水単価 (円)	67.958	0.00	67.958	67.958			
年間有収水量 (m ³)	9,030,737	△ 75,826	9,106,563	9,154,441			
一日最大給水量 (m ³)	27,280	120	27,160	27,310			
一日平均給水量 (m ³)	24,906	△ 410	25,316	25,549			
施設利用率 (%)	71.2	△ 1.1	72.3	73.0			1日平均給水量 配水能力
有収率 (%)	99.3	0.7	98.6	98.2			年間有収水量 年間給水量
負荷率 (%)	91.3	△ 1.9	93.2	93.6			1日平均給水量 1日最大給水量
最大稼働率 (%)	77.9	0.3	77.6	78.0			1日最大給水量 配水能力

(エ) 労働生産性

損益勘定支弁職員15人の1人当たりの労働生産性は、給水人口で5,573人、有収水量で602,049m³、営業収益で71,208,308円となる。前年度と比較すると、基本料金減免の影響もあり、9,115,406円減少している。なお、営業収益は、受託工事収益を含まない数値である。

職員給与費対営業収益率は9.5%となり、前年度比で1.0ポイント増加している。

(オ) 供給単価と給水原価の状況

有収水量1m³当たりの供給単価と給水原価の状況は、次のとおりである。

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
供給単価	97.43 円	111.98 円	111.01 円
給水原価	126.21 円	117.77 円	114.97 円
差 額	△ 28.78 円	△ 5.79 円	△ 3.96 円

(3) 財政状況

ア 資産、負債及び資本

資産、負債及び資本の3箇年度を比較すると、別表(2) 比較貸借対照表のとおりである。

(ア) 資産

資産合計は10,333,416,329円で、前年度と比較して109,571,617円(1.0%)減少している。これは主に、有形固定資産の建設仮勘定が68,874,000円(65.6%)減少したことによるものである。

(イ) 負債

負債合計は2,980,891,197円で、前年度と比較して198,266,221円(6.2%)減少している。これは主に、繰延収益の長期前受金が143,741,715円(5.0%)減少したことによるものである。

(ウ) 資本

資本合計は7,352,525,132円で、前年度と比較して88,694,604(1.2%)増加している。これは、資本金が209,874,682円(3.0%)増加したことによるものである。

イ 財務分析

財務分析比率は、次のとおりである。

(単位：%)

項目	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	比率	前年度比較増減	比率	比率
固定資産構成比率	88.61	△ 0.45	89.06	85.84
自己資本構成比率	97.58	0.50	97.08	96.52
固定資産対長期資本比率	90.75	△ 0.68	91.43	88.35
流動比率	482.52	61.26	421.26	498.74
当座比率	461.81	49.32	412.49	484.01
営業利益対営業収益比率	△ 19.68	△ 17.18	△ 2.50	△ 3.48

(ア) 固定資産構成比率

総資産中に占める固定資産の割合を示すもので、比率が高いほど資本が固定化傾向にあるといえる。

$$\text{固定資産構成比率} = \frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$$

(イ) 自己資本構成比率

総資本(負債及び資本)に占める資本の割合を示すもので、比率が高いほど経営の安全性は大きいものといえる。

$$\text{自己資本構成比率} = \frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$$

(ウ) 固定資産対長期資本比率（固定長期適合率）

固定資産がどの程度長期資本によって調達されているかを示すものであり、100%以下かつ低いことが望ましい。

$$\text{固定資産対長期資本比率} = \frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{繰延収益} + \text{剰余金}} \times 100$$

(エ) 流動比率

1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債を比較するもので、企業の支払能力を判断する指標の一つである。流動性を確保するためには、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望ましいとされている。

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

(オ) 当座比率

流動資産のうち、現金預金及び容易に現金化しうる未収金などの当座資産と流動負債を対比させたもので、企業の支払能力を判断する指標の一つで、100%以上が望ましいとされている。

$$\text{当座比率} = \frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$$

(カ) 営業利益対営業収益比率

営業収益100円に対する営業利益の割合を示すもので、比率の高いほど良好であるといえる。

$$\text{営業利益対営業収益比率} = \frac{\text{営業利益} ※}{\text{営業収益}} \times 100$$

※営業利益＝営業収益－営業費用

3 むすび

令和4年度の決算審査の結果は以上のとおりであるが、結びに審査執行における意見を次のとおり申し述べる。

令和4年度の水道事業会計業務における給水状況は、前年度と比較して給水人口数で400人、戸数で609戸の増加となっているが、年間給水量で14万9,830 m³、さらに年間有収水量では7万5,826 m³の減少となっている。

給水原価と供給単価に目を向けると、令和4年度の1 m³あたりの供給単価は97円43銭で、前年度111円98銭より14円55銭下がっている。この供給単価の大幅な下落は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援するため、令和4年8月請求分から同年11月請求分までの水道料金のうち、基本料金を免除したことによるところが大きい。減免された基本料金を加味した場合の供給単価は113円18銭となり、前年度と比べ、逆に1円20銭上がっていることに留意する必要がある。また、給水原価は126円21銭で前年度117円77銭より8円44銭上がっている。この結果、減免された基本料金を加味した場合の単価で見ると、供給単価が給水原価を13円3銭下回ったことに伴い、料金回収率は昨年度の95.1%から5.4ポイント下がった89.7%となった。

令和4年度収益的収支全体では、当期純利益は前年度に比して4,618万5,254円減の8,869万4,604円となっている。前年度と比較して、減免した基本料金分を一般会計から補助金を受けた結果、事業収益が微増となったものの、物価上昇やエネルギー価格の高騰などを受けて原水及び浄水費が増加したこと、また、配水及び給水費、減価償却費、雑支出も増加したことにより、純利益の幅が縮小している。

次に、資本的収入は、811万2,965円で、前年度と比較して、1,602万8,150円の減収となっている。この収入は、主に市道364号線配水管布設替えなどの工事に対する負担金を受け入れたことによるものである。

一方、資本的支出は、3億1,609万7,343円で、前年度と比較して、4億5,687万771円の減少となった。主な要因は、建設改良費の浄水場施設改良費が大幅に減少したことである。

なお、この資本的収支の不足額3億798万4,378円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,343万2,850円、過年度分損益勘定留保資金2億5,145万8,246円及び減債積立金3,309万3,282円で補填されている。

収納対策では、令和3年11月からスマートフォン決済を新たに開始し、6社の決済サービスを利用して水道料金を納付できるようになった。スマートフォン決済による収納件数は7,674件で全体の3.5%となっているが、開始以降のスマートフォン決済の利用件数は増加傾向にあり、今後の収納率向上の効果が期待される。口座振替やコンビニ収納の利用も高い水準を示しており、全体としては効果的な徴収の取組により高い収納率が維持されている。

令和4年度の企業経営上の指標では、営業利益対営業収益比率については前年度と比較して17.2ポイントのマイナスと大幅に下落しているが、これは前述のとおり4か月分の基

本料金を減免したことによるものであり、これを加味すれば前年度とほぼ同等となる。その他、固定資産構成比率、自己資本構成比率、固定資産対長期資本比率、流動比率、当座比率の財務分析指標は良好な比率であり、引き続き他会計や企業債に依存しない安定的な経営状況を示しているが、キャッシュフローなども含め、これらの数値の変動については、留意していただきたい。

また、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比 1.2 ポイント増の 50.69%、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率は前年度比 1.28 ポイント増の 10.90%となっており、これらの数値の変動は施設や設備などの資産の経年化、老朽化が進行しつつあることを示している。この課題に対応するため、浄水場設備や取水井戸の老朽化に伴う大規模な修繕、老朽管の更新と耐震化など、多大な財政需要のための資金準備が必要となること、また、より長期的な展望に立てば、少子高齢化の進展など、予想される水需要の減少も踏まえた一層の経費の節減と効率的な経営が求められる。加えて、エネルギー価格の高騰傾向が継続しており、給水原価が大幅に上昇する要因の一つとなっていることから、動力費の動向には今後も長期的な視点で注視し、健全な経営となるように努めていただきたい。

このようなことから、水道事業経営の根幹である水道料金については、安定した水道事業の経営を今後も持続するため、県水単価の動向やエネルギー供給の動向、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行などといった水需要の推移や給水原価への影響要因に留意しながら、新たな経営戦略に基づき、適正な料金水準の検討を進められるようお願いしたい。

最後に、水道事業経営の一層の合理化、効率化を推進し、市民のために安全で良質な水道水の供給が図られるよう、一層の努力を望むものである。

別表（1）

比 較 損 益

		借 方								
年 度		令和4年度			令和3年度			令和2年度		
科 目		金 額	構成比	対前年 度 比	金 額	構成比	対前年 度 比	金 額	構成比	
費 用 の 部	営業費用	1,279,903,471	98.6	103.5	1,237,106,099	99.6	102.2	1,210,795,569	99.5	
	原水及び浄水費	607,593,600	46.8	102.0	595,684,857	48.0	102.2	582,998,810	47.9	
	配水及び給水費	109,649,709	8.4	117.4	93,373,705	7.5	98.3	95,017,929	7.8	
	受託工事費	1,165,000	0.1	323.6	360,000	0.0	16.6	2,170,000	0.2	
	業務費	110,888,326	8.5	102.5	108,155,624	8.7	100.1	108,019,603	8.9	
	総係費	42,184,117	3.3	97.5	43,276,510	3.5	104.3	41,507,431	3.4	
	減価償却費	406,233,957	31.3	105.2	386,016,854	31.1	101.9	378,902,568	31.1	
	資産減耗費	2,188,762	0.2	21.4	10,238,549	0.8	469.8	2,179,228	0.2	
	営業外費用	17,910,901	1.4	416.3	4,302,480	0.3	74.5	5,777,057	0.5	
	支払利息及び 企業債取扱諸費	2,372,084	0.2	60.1	3,944,541	0.3	71.2	5,543,500	0.5	
	雑支出	15,538,817	1.2	4341.2	357,939	0.0	153.3	233,557	0.0	
特別損失	62,134	0.0	13.1	474,896	0.0	263.6	180,132	0.0		
過年度損益修正損	62,134	0.0	13.1	474,896	0.0	263.6	180,132	0.0		
事 業 費	1,297,876,506	100.0	104.5	1,241,883,475	100.0	102.1	1,216,752,758	100.0		

純 利 益	令和4年度	令和3年度	令和2年度
	金 額	金 額	金 額
	88,694,604	134,879,858	117,100,981

計 算 書

(単位：円、%)

		貸 方								
年 度		令和4年度			令和3年度			令和2年度		
科 目		金 額	構成比	対前年 度 比	金 額	構成比	対前年 度 比	金 額	構成比	
収 益 の 部	営業収益	1,069,474,770	77.1	88.6	1,206,571,721	87.6	103.1	1,170,119,365	87.7	
	給水収益	879,850,330	63.5	86.3	1,019,735,075	74.1	100.3	1,016,270,903	76.2	
	受託工事収益	1,350,140	0.1	78.7	1,716,000	0.1	68.3	2,510,750	0.2	
	その他の営業収益	188,274,300	13.6	101.7	185,120,646	13.4	122.3	151,337,712	11.3	
	営業外収益	317,053,296	22.9	186.3	170,170,941	12.4	103.9	163,721,740	12.3	
	受取利息及び 配当金	158,790	0.0	88.3	179,787	0.0	73.6	244,219	0.0	
	他会計補助金	158,403,829	11.4	皆増	—	—	—	—	—	
	雑収益	1,581,331	0.1	110.7	1,428,249	0.1	93.9	1,521,111	0.1	
	長期前受金戻入	156,909,346	11.3	93.1	168,562,905	12.2	104.1	161,956,410	12.1	
	特別利益	43,044	0.0	208.2	20,671	0.0	163.6	12,634	0.0	
過年度損益修正益	43,044	0.0	208.2	20,671	0.0	163.6	12,634	0.0		
事 業 収 益		1,386,571,110	100.0	100.7	1,376,763,333	100.0	103.2	1,333,853,739	100.0	

別表（２）

比 較 貸 借

		借 方							
年 度	科 目	令和４年度			令和３年度			令和２年度	
		金 額	構成比	対前年 度 比	金 額	構成比	対前年 度 比	金 額	構成比
資 産 の 部	固定資産	9,156,398,880	88.6	98.5	9,300,195,722	89.1	103.4	8,993,223,164	85.8
	有形固定資産	9,155,350,580	88.6	98.5	9,299,147,422	89.0	103.4	8,992,174,864	85.8
	土地	56,760,465	0.5	100.0	56,760,465	0.5	100.0	56,760,465	0.5
	建物	359,828,912	3.5	96.3	373,586,646	3.6	96.4	387,344,380	3.7
	構築物	7,563,092,527	73.2	100.0	7,562,907,314	72.4	98.7	7,663,427,270	73.2
	機械及び装置	1,126,320,656	10.9	95.0	1,184,992,657	11.3	144.2	822,048,449	7.8
	工具器具及び 備品	13,238,020	0.1	83.2	15,916,340	0.2	62.7	25,379,300	0.2
	建設仮勘定	36,110,000	0.3	34.4	104,984,000	1.0	282.1	37,215,000	0.4
	無形固定資産	1,048,300	0.0	100.0	1,048,300	0.0	100.0	1,048,300	0.0
	電話加入権	1,048,300	0.0	100.0	1,048,300	0.0	100.0	1,048,300	0.0
	流動資産	1,177,017,449	11.4	103.0	1,142,792,224	10.9	77.1	1,483,041,218	14.2
	現金預金	1,105,221,230	10.7	103.7	1,065,883,995	10.2	75.2	1,417,892,009	13.5
	未収金	21,280,474	0.2	40.1	53,126,154	0.5	248.9	21,343,754	0.2
貯蔵品	7,515,745	0.1	93.3	8,051,195	0.1	103.1	7,805,455	0.1	
前払金	43,000,000	0.4	273.3	15,730,880	0.2	43.7	36,000,000	0.3	
資 産 合 計	10,333,416,329	100.0	99.0	10,442,987,946	100.0	99.7	10,476,264,382	100.0	

対 照 表

(単位：円、%)

年 度		貸			方				
		令和4年度			令和3年度			令和2年度	
科 目		金 額	構成比	対前年 度 比	金 額	構成比	対前年 度 比	金 額	構成比
		負 債 の 部	固定負債	6,576,883	0.1	19.5	33,749,338	0.3	50.5
企業債	6,576,883		0.1	19.5	33,749,338	0.3	50.5	66,842,620	0.6
流動負債	243,930,530		2.4	89.9	271,282,581	2.6	91.2	297,355,001	2.8
企業債	27,172,455		0.3	82.1	33,093,282	0.3	80.1	41,311,777	0.4
未払金	122,064,308		1.2	84.4	144,688,995	1.4	88.7	163,124,898	1.6
引当金	10,761,000		0.1	95.9	11,223,000	0.1	96.9	11,587,000	0.1
その他 流動負債	83,932,767		0.8	102.0	82,277,304	0.8	101.2	81,331,326	0.8
繰延収益	2,730,383,784		26.4	95.0	2,874,125,499	27.5	96.3	2,983,116,091	28.5
長期前受金	2,730,383,784		26.4	95.0	2,874,125,499	27.5	96.3	2,983,116,091	28.5
負債合計	2,980,891,197		28.8	93.8	3,179,157,418	30.4	95.0	3,347,313,712	32.0
資 本 の 部	資本金	7,106,002,577	68.8	103.0	6,896,127,895	66.0	103.0	6,694,458,667	63.9
	剰余金	246,522,555	2.4	67.0	367,702,633	3.5	84.6	434,492,003	4.1
	利益剰余金	246,522,555	2.4	67.0	367,702,633	3.5	84.6	434,492,003	4.1
	資本合計	7,352,525,132	71.2	101.2	7,263,830,528	69.6	101.9	7,128,950,670	68.0
負債資本合計		10,333,416,329	100.0	99.0	10,442,987,946	100.0	99.7	10,476,264,382	100.0